プロダクトデザイン実習3年

学校番号	3010

令和5年度　工業（プロダクトデザイン）　科

教科	工業	科目	プロダクトデザイン実習	単位数	5 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1担当者からのメッセージ（学習方法等）

プロダクトデザイン実習では、前期・後期に、各3つの班に分かれる。生徒は前後期に希望するセクションを1つ、年間に計2セクションを選んで学習する。生徒が自ら社会とデザイン問題意識を持って改善・向上をめざして主体的に取り組むとともに、プロダクトデザインの実践的な各表現スキルを身に付ける。特に様々な素材と加工の技術等の応用力を身に付ける。1. インテリアデザイン、2. 照明デザイン、3. 生活デザインの3つのセクションが設定される。制作された作品は制作して終了でなく、コンペティションにも積極的に参加を求める。最後に自己作品のプレゼンテーションを行い情報発信能力の育成や姿勢も重視する。

履修条件
なし

2学習の到達目標

2年生までに学んだプロダクトデザインに関する基礎的な知識と技術を習得したものを生かして社会に通用する作品作りに挑む。自ら課題を見つけて解決していく。デザイン工程を計画し、調査・検討・企画・デザインワーク・情報発信等を総合的デザインワークとして取り組み、特に様々な素材・技術等を用いて作品を完成させる。最後に様々な方法でのプレゼンテーションに取り組む。

3学習評価 評価 規準 と評価方法

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	プロダクトデザイン（工業分野）のもつ社会的な意義や役割を理解し、人と技術との関わりを踏まえて、関連するデザインや造形に深い関心と意欲をもち、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	プロダクトデザイン（工業分野）の人と技術との関わりを踏まえて、関連するデザイン能力や造形表現能力を養う。	プロダクトデザイン（工業分野）のもつ社会的な意義や役割を理解し、人と技術との関わり踏まえて、関連するデザイン能力や造形表現能力に加え、現代の社会に求められる、デジタルデザインスキルを身につける。	プロダクトデザイン（工業分野）のもつ社会的な意義や役割を理解し、現代の社会に求められる問題を自ら課題を発見し、解決する力を養う。
評価方法	プレゼンテーション 出席状況 提出状況	企画・コンセプト アイデアスケッチ 試作モデル	学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル	調査レポート アイデア検討会

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	インテリア実習	●グランドテーマ提示 ・個人テーマ設定 ・情報収集 ・コンセプト・アイデアスケッチ ・パースおよび三面図 ・制作の基本素材 ・金属加工・木材加工など ・モデル制作・作品制作 ・イラストレーター、フォトショップ ・プレゼンボード制作 ・発　表	○	◎	○	○	a:自己の作品を発信するためのプレゼンツール制作や良好なプレゼンテーションができ,主体的かつ協働的に取り組むことができる。 b:個人テーマを考え豊かな発想のアイディア展開・コンセプト立案ができ、機能的で魅力的なデザインである c:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイディアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 d:現代の社会に求めれる問題を自ら課題研究し、調査することができる。	a:プレゼンテーション 出席状況 提出状況 b:企画・コンセプト アイデアスケッチ 試作モデル C:学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル 作品 d:調査レポート アイデア検討会
2学期	生活デザイン	●グランドテーマ提示 ・個人テーマ設定 ・情報収集 ・コンセプト・アイデアスケッチ ・パースおよび三面図 ・モデル制作・作品制作 ・作品撮影 ・イラストレーター、フォトショップ ・プレゼンボード制作 ・発　表	○	◎	○	○	a:自己の作品を発信するためのプレゼンツール制作や良好なプレゼンテーションができ,主体的かつ協働的に取り組むことができる。 b:個人テーマを考え豊かな発想のアイディア展開・コンセプト立案ができ、機能的で魅力的なデザインである c:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイディアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 d:現代の社会に求めれる問題を自ら課題研究し、調査することができる。	a:プレゼンテーション 出席状況 提出状況 b:企画・コンセプト アイデアスケッチ 試作モデル C:学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル 作品 d:調査レポート アイデア検討会
3学期	照明デザイン	●グランドテーマ提示 ・個人テーマ設定 ・情報収集 ・コンセプト・アイデアスケッチ ・パースおよび三面図 ・制作の基本素材 ・金属加工・陶土加工など ・モデル制作・作品制作 ・イラストレーター、フォトショップ ・プレゼンボード制作 ・発　表	○	◎	○	○	a:自己の作品を発信するためのプレゼンツール制作や良好なプレゼンテーションができ,主体的かつ協働的に取り組むことができる。 b:個人テーマを考え豊かな発想のアイディア展開・コンセプト立案ができ、機能的で魅力的なデザインである c:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイディアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 d:現代の社会に求めれる問題を自ら課題研究し、調査することができる。	a:プレゼンテーション 出席状況 提出状況 b:企画・コンセプト アイデアスケッチ 試作モデル C:学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル 作品 d:調査レポート アイデア検討会

※　表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c:技能　　d: 知識・理解

※　年間指導計画(例)作成上の留意点
・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について〇を付けている。